

授業科目名	フィジカルアセスメント			担当教員	小手川 良江、 隈井 寛子、鬼丸 美紀	
開講年次	1年後期	セメスター	2	時間数(単位数)	45 (2)	
必修選択	必修	授業形態	演習	使用教室		
授業の目的	看護ケアの必要性を判断するフィジカルアセスメントの理論と方法を理解し、基本的診察技法を身につける。					
到達目標	1. フィジカルアセスメントにおける原理・原則を述べることができる 2. フィジカルアセスメントに必要な知識・技術を習得することができる 3. 得られた情報から対象者の状態を判断することができる 4. 看護を学ぶ基本的な学習姿勢・態度を身につけることができる					
授業計画						
回	授業内容	授業方法	学修課題 (予習・復習)	取組時間	担当者	
1	フィジカルアセスメントの意義 基本的な診察法 全身の概要	講義 演習	予習：臓器の位置、胸骨角、胸郭の 基準線、腹部の9区分 テキスト① p74-86を熟読すること	45分	小手川	
2						
3	一般状態と生命徴候1 身体を 守る：皮膚・頭髪・リンパ節・ 甲状腺	演習	予習：体温、脈拍、呼吸、意識レベル 皮膚などの構造や機能 テキスト① p86-96、104-107、193- 194を熟読すること	45分	小手川	
4						
5	一般状態と生命徴候2：血圧測定	演習	予習：血圧・血圧測定について 血圧測定の練習 テキスト① p96-104を熟読すること	45分	小手川	
6						
7	生命を維持する1：呼吸器系	演習	予習：呼吸器系の構造と機能 DVDの視聴、技術練習 テキスト① p124-132を熟読すること	90分	隈井	
8						
9	技術まとめ1：血圧測定	演習	復習：血圧測定の練習	60分	小手川	
10	技術試験1：血圧測定	演習	復習：血圧測定の練習	60分	小手川	
11	食べる・栄養を取り込む、排せ つする：消化器系 技術試験1のフィードバック	演習	予習：消化器系の構造と機能 DVDの視聴、技術練習 テキスト① p152-159を熟読すること	90分	鬼丸	
12						
13	技術まとめ2：呼吸器系、消化 器系	演習	復習：呼吸器系、消化器系の技術に ついて練習	60分	小手川 隈井 鬼丸	
14	技術試験2：呼吸器系、消化器系	演習	復習：呼吸器系、消化器系の技術に ついて練習	60分	小手川 隈井 鬼丸	
15	総合演習：模擬患者への実施	演習	復習：消化器系の技術について練習	60分	小手川	
16	技術まとめ3：呼吸器系、消化 器系 技術試験2のフィードバック	演習	復習：呼吸器系、消化器系の技術に ついて練習	60分	小手川	

17	生命を維持する2：循環器系 総合演習のフィードバック	演習	予習：循環器系の構造と機能 DVDの視聴、技術練習 テキスト① p135-143を熟読すること	90分	隈井	
18						
19	身体を動かす：筋・骨格系 見る、聴く、嗅ぐ、味わう、触れる、話す：神経系	演習	予習：筋骨格系、神経系の構造と機能 DVDの視聴、技術練習 テキスト① p162-168、171-192を熟読すること	60分	鬼丸	
20						
21	技術まとめ4：呼吸器系、循環器系	演習	復習：呼吸器系、循環器系の技術練習	90分	隈井 鬼丸 小手川	
22						
23	看護実践におけるフィジカルアセスメントの意義、まとめ	講義	復習：フィジカルで学習した内容について	45分	小手川	
先行履修科目						
テキスト		<p>〈テキスト①〉 茂野香おる 他：系統看護学講座専門分野 I 基礎看護学〔2〕基礎看護技術 I 16版. 医学書院, 2015.</p> <p>〈テキスト②〉 守田美奈子 監修：写真でわかる看護のためのフィジカルアセスメントアドバンス. インターメディカ, 2016.</p>				
参考文献		<p>山内豊明 監修：山内豊明教授のフィジカルアセスメント全巻. ビデオ・パック・ニッポン / 京都科学, 2006.</p> <p>山内豊明：フィジカルアセスメントワークブック. 医学書院, 2014.</p>				
科目の位置づけ		<p>フィジカルアセスメントでは基本的診察技法を学び、基本的診察技法を用いて得られた結果について、人体の構造と機能で学んだ知識を基盤に看護の視点から患者の身体面をアセスメントする。看護の視点からアセスメントすることは、看護過程や看護過程の展開実習へも繋がっており、看護師としての基礎的能力を養い、今後学んでいく専門科目の基礎となる科目である。</p>				
ディプロマポリシーとの関連		人間の尊厳と権利を擁護する力	自己教育力	チームで働く力	問題解決力	看護の専門性を探究する力
		○				◎
評価方法		定期試験 70%、演習態度 15%、技術試験 15%				